

平成17年度 定期作況報告

(7月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

気象概況

6月下旬：平均気温は平年より2.8 高く、日照時間は平年の144%、降水量は平年の224%で、高温多照に経過した。

7月上旬：平均気温は平年より1.7 低く、日照時間は平年の91%、降水量は平年の101%で、低温寡照に経過した。

7月中旬：平均気温は平年より0.1 高く、日照時間は平年の120%、降水量は平年の32%で、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より0.3 高く、降水量は平年よりやや少なく、日照時間は平年より30.7時間長く、多照に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	25.6	22.0	3.6	20.3	22.5	2.2	24.8	24.2	0.6	23.6	22.9	0.7
最低気温()	15.2	13.2	2.0	13.7	15.0	1.3	15.9	16.5	0.6	14.9	14.9	0.0
平均気温()	20.4	17.6	2.8	17.0	18.7	1.7	20.4	20.3	0.1	19.2	18.9	0.3
降水量(mm)	38.0	17.0	21.0	47.5	46.9	0.6	14.0	43.8	29.8	99.5	107.7	8.2
日照時間(hr)	83.6	58.0	25.6	38.0	41.9	3.9	54.3	45.3	9.0	175.9	145.2	30.7

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成7年～16年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作 況

水稻 作況：やや良

事由：幼穂形成期は平年と同じであった。7月20日における草丈は、「きらら397」で平年比99%、「ほしのゆめ」で100%となりほぼ平年並であった。茎数は、「きらら397」は平年比148%、「ほしのゆめ」は138%と平年を大幅に上回り、過剰分けつ気味である。

早生品種では7月上旬の低温による不稔の発生が懸念されるが、中生品種では穂ばらみ期には天候は回復したので、不稔の発生は少ない見込みである。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	幼穂形成期(月・日)			止葉期(月・日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	7.06	7.06	0	-	7.23	-
ほしのゆめ	7.05	7.05	0	-	7.21	-
ななつぼし	6.30	-	-	7.19	-	-

品種名	栽培方法	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			主稈葉数(枚)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	54.5	54.8	0.3	1018	689	329	10.3	10.7	0.4
ほしのゆめ	中苗紙筒	59.1	59.1	0.0	965	698	267	9.6	9.9	0.3
ななつぼし	紙筒成苗ポット	59.6	-	-	783	-	-	10.0	-	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2) 本年より従来の奨励品種決定調査圃場(グライ土)から系統養成圃場(グライ土)に移動した。

注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P₂O₅ - K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a
 播 種 量 中苗紙筒 = 180cc/箱 栽 植 密 度 30×13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法 手植え 反 復 2

畑作の部

畑作科 (長沼町)

気象概況

6月下旬：気温は最高・最低とも著しく高く、平均で2.7 高かった。25～26日に43mmの降雨があったため、降水量は平年より多かった。日照時間は多かった。

7月上旬：気温は平年より低かった。降水量は多く、日照時間はやや少なかった。

7月中旬：気温は最高気温は高かったものの、最低気温は低く、平均気温は平年並であった。降水量は少なく、日照時間はやや多かった。

以上、1ヶ月を通じてみると、気温は6月下旬が著しく高かったものの、その後は平年並みから低く経過し、平均するとやや高かった。降水量、日照時間はほぼ平年並みであった。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	19.3	16.6	2.7	16.3	17.7	1.4	19.6	19.5	0.1	18.4	17.9	0.5
最高気温 ()	24.7	21.0	3.7	19.4	21.6	2.2	24.6	23.5	1.1	22.9	22.0	0.9
最低気温 ()	15.1	13.3	1.8	13.8	14.9	1.1	15.8	16.4	0.6	14.9	14.9	0.0
降水量 (mm)	43.0	22.0	21.0	60.0	44.9	15.1	14.0	37.9	23.9	117.0	104.8	12.2
降水日数 (日)	2.0	3.0	1.0	4.0	3.8	0.2	2.0	3.6	1.6	8.0	10.4	2.4
日照時間 (hr)	59.8	45.0	14.8	25.1	31.5	6.4	42.3	34.8	7.5	127.2	111.3	15.9

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成7年～16年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成17年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦 作況：平年並

事由：6月下旬の高温により登熟は進んでいる。穂数は「ホクシン」で平年より多く、「ホロシリコムギ」はほぼ平年並みであった。稈長および穂長は両品種とも平年並みであった。なお、登熟期間は平年よりやや短くなることが予想される。また、7月上～中旬の降雨により両品種とも倒伏が発生した。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	成熟期(月.日)			倒伏程度			稈長(cm)			穂長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	-	7.22	-	3.3	1.1	2.2	100	98	2	8.7	8.7	0.0
ホクシン	-	7.17	-	1.5	1.2	0.3	88	89	1	8.8	8.9	0.1

品種名	穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	588	554	34
ホクシン	736	611	125

注1)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

注2)倒伏程度：成熟期における倒伏程度。0(無)～5(甚)の6段階評価。

2. 春まき小麦 作況：やや不良

事由：出穂期は両品種とも平年より1日遅い6月22日であった。穂長は平年並からやや長いものの、6月上・中旬の干ばつ及び6月下旬の高温により茎の無効化が進んだため、穂数は平年の82～84%と少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	出穂期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	6.22	6.21	1	84	86	2	8.7	8.0	0.7	386	473	87
春よ恋	6.22	6.21	1	91	93	2	8.8	8.6	0.2	401	478	77

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

3. 大豆 作況：平年並

事由：6月下旬が高温に経過したことから、主茎長、主茎節数および分枝数はほぼ平年並みに回復した。開花期は「ツルムスメ」で平年より1日遅かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	7.20	7.19	1	45.0	45.6	0.6	11.1	10.9	0.2	6.6	5.5	1.1
ユウヅル	-	7.29	-	41.8	41.5	0.3	10.9	10.7	0.2	3.5	3.5	0.0
トヨムスメ(参考)	7.18	7.16	2	50.4	51.2	0.8	9.4	9.7	0.3	5.8	6.5	0.7
スズマル(参考)	-	7.26	-	37.2	41.7	4.5	10.8	10.4	0.4	8.1	7.2	0.9

注)平年値は前7か年中、平成16年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

ただし、トヨムスメ、スズマルは、前4か年の平均を平年とし参考値を示す。

4. 小豆 作況：平年並

事由：6月下旬の高温により、生育は回復した。7月上中旬の気温は平年並みからやや低く経過したが、適度に降雨があったため生育は順調である。主茎長は平年より短いものの、主茎節数および分枝数は平年を上回った。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨズ	-	7.25	-	17.0	20.7	3.7	8.3	7.8	0.5	3.2	2.9	0.3

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：平年並

事由：開花始は6月26日で、平年より4日遅かった。その後の好天により生育は急速に回復し、現在の生育は茎長が平年比118%と平年を上回り、茎数が平年並である。また、特に目立った病虫害の発生は認められない。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	開花始(月.日)			茎長(cm)			茎数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	6.26	6.22	4	46	39	7	5.0	5.0	0.0

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

6. てんさい 作況：平年並

事由：6月下旬以降の好天により生育は急速に回復に向かった。現在の生育は、草丈が平年比107%、葉数が平年比105%、根周が平年比101%とほぼ平年並である。また、病虫害の発生はヨトウガの食害が僅かに認められる。

以上により、現在の作況は平年並である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	60.7	56.5	4.2	23.3	22.3	1.0	23.8	23.5	0.3

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

7. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。